

平成29年8月教育委員会定例会 会議録

平成29年（2017）8月22日（火）午後2時、出雲市教育委員会定例会を庁議室に招集した。

1. 会議に出席した委員

教 育 長	榎 野 信 幸
教育委員(教育長職務代理)	下 手 泰 子
教 育 委 員	松 浦 剛 司
教 育 委 員	小豆澤 貴 洋子
教 育 委 員	水 陽 子

2. 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	杉 谷 学
教育部次長（学校教育課長）	安 井 孝 治
教育部次長（教育施設課長）	金 山 隆 司
教 育 政 策 課 長	渡 部 祐 子
児 童 生 徒 支 援 課 長	児 玉 弘 之
学 校 給 食 課 長	金 森 真 治
出 雲 科 学 館 館 長	山 本 利 明
学 校 教 育 課 主 査	佐 藤 協

3. 会議の書記

教 育 政 策 課 主 査	和 田 貢
---------------	-------

4. 傍聴者

2人

開会

(槇野教育長) 只今から、平成29年8月出雲市教育委員会定例会を開会します。最初に、教育政策課長から発言が求められておりますので、これを許可いたします。

(渡部課長) 議第23号で、「平成30年度使用 小学校において使用する特別の教科 道徳用教科書の採択結果について」を上程いたしますが、出雲採択地区教科用図書採択協議会においては、情報公開の期日を平成29年9月1日と定められておりますので、この件については非公開でご審議をお願いしたいと考えます。なお、本定例会の議事録の公開は9月になってからですので、議事録は公開いたします。

出雲市教育委員会会議規則第17条第1項により、「教育長又は委員の発議により、出席委員の三分の二以上の多数で議決したときは、これを公開しないことができる」、との規定により、議決をいただきたいと思います。

(槇野教育長) それでは、今説明がありましたように、「平成30年度使用 小学校において使用する特別の教科 道徳用教科書の採択結果について」は、非公開とすべきと考えます。お諮りをします。この案件について、非公開としてよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(槇野教育長) 出席委員全員の賛成がありましたので、議第23号については非公開と致します。なお、審議は日程の最後に行い、そのほかは、順次審議してまいります。

1. 教育長行政報告

(槇野教育長) それでは、教育長行政報告を行います。

(槇野教育長) (以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

- H29.7.30 市同和教育講演会
- H29.7.31 市議会全員協議会
- H29.7.31 校長との懇談会
- H29.8.1 地域別校長懇談会 ～8.7
- H29.8.3 主幹教諭連絡協議会
- H29.8.6 平和祈念式典
- H29.8.8 学校運営研修会
- H29.8.18 檜山小・東小再編統合推進委員会
- H29.8.22 定例教育委員の会議

(2) 今後の予定

- H29.8.23 校長の会議
- H29.8.25 県市町村教委連合会文教施策・予算措置要望活動
- H29.8.26 西田小再編統合説明会 ～8.27
- H29.8.31 市議会初日 ～9.27
- H29.9.1 防災訓練
- H29.9.2 西田小再編統合説明会 ～9.3
- H29.9.4 市議会一般質問 ～9.7
- H29.9.7 予算特別委員会
- H29.9.9 2000人の吹奏楽
- H29.9.11 市議会文教厚生常任委員会・予算特別委員会分科会
- H29.9.13 乙立小学校・朝山小学校再編統合推進委員会
- H29.9.20 市議会決算特別委員会 ～9.25
- H29.9.26 定例教育委員の会議

(榎野教育長) 今の報告で、質問等がありますか。特に、地域別校長懇談会についての感想等がありましたら、お聞かせいただきたいと思います。

(松浦委員) 英語についてですが、私が思うより、意外に時間の確保が進んでいる学校が多くて、驚いたことや安心したところもありました。一方で、ぜんぜん進んでいない学校もあり、その温度差が少し気になるところがありました。それにしても、皆さんが前向きに取り組んでおられて、いろいろなお話を聞いたので参考になりました。

(小豆澤委員) 教員の多忙化について、いろいろなご意見を聞いて、自分がイメージしていたより、その多忙感や実際の業務多忙について、実際の現場で従事されている皆さんの考え方が逆に幅広くて、本当に何が問題だったのかということは今更振り返ってみると、余計わからなくなかったというのが実際のところですね。特に中学校については、部活動ということに焦点を絞りましたが、アンケート結果からはそういう拾い出しになるでしょうが、今回ご出席いただいた皆さんからの声は、そこには無かった意見が多数あったと思います。もしかしたら学校それぞれ、多忙感を感じる要因は様々だとは思いますが、何か前進した感じはしませんでした。

(下手委員) どの項目についても学校の温度差があつて、特に多忙化についても、「7時には、切り上げて帰らせます。」というようにはっきりとした感じでおっしゃる先生もあれば、これはこれで遅くなっても仕方が無いところがある、という感じで捉えていらっしゃる先生もあつて、このあたりの温度差が大きいので、この温度差を埋めていけないといけなしいと思えました。

(榎野教育長) それ以外の部分で何かありませんか。

(各教育委員) ありません。

2. 会議録の承認

(榎野教育長) それでは続きまして会議録の承認に入ります。前回7月定例会の会議録について、何か意見がありましたでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(榎野教育長) 特に意見等ありませんので、7月定例会の会議録については承認といたします。

3. 協議

(榎野教育長) それでは、「学力調査結果の学校別結果の公表について」協議にはいります。最初に教育部 安井次長 に説明願います。

(安井次長) 資料に基づき説明。

(榎野教育長) それでは、学力調査結果の学校別結果の公表のあり方について、委員の皆さんのご意見をお願いします。

(小豆澤委員) 一般に公表されている資料ということで、平成28年度の資料を見させていただいて、書いてあることをしっかり読めば理解はしますが、これは主に、誰に読んでもらうために公表なさっていますか。

(安井次長) 公表ということですので、誰でも、ということになります。もちろん保護者の皆さんとか、参考とされたい市民一般の方とか、誰が見ても、ということになります。ちなみに各学校の保護者向けには、この上に、先ほどの平均正答率を入れたものでより具体的に説明がされております。

(小豆澤委員) これだけだと、結構読むのが大変ですね。関心を持って見られる方がほとんどなのでいいのかもしれませんが、ある程度グラフや図があった方が、視覚的にも飛び込んで来やすいかなと思います。

(榎野教育長) 去年と同じ様式で、しかも数値ではなくて文言による表現でいいのか、

それとも去年と違った様式、やり方に変更した方がいいのか、というところでご意見があればお聞かせいただきたいと思います。

(小豆澤委員) 学習に関すること、家庭生活に関することとして、文章のあとに数字がずっと羅列してあるので、しっかりと表にされた方が、やはり理解しやすいし、見て認知しやすいと思います。

(松浦委員) 松江市の例のように公表するかどうか、ということですか。

(榎野教育長) それを含めてです。もっとわかりやすくするという視点もあるでしょうし、確かに公表して読んでいただくというのは、大きな目的の一つですが、私が個人的に思っているのは、それよりむしろ、学校全体で分析して、課題に対してこういうことをやっていくということを校内で話し合っ、ここへまとめるということ、私は一番大きな意義があると思っています。学校内部でしっかりと分析を行って、意思統一を行うというところが、より重要であるという受け止め方をしています。併せてそれを公開することによって、確かに読みづらい点はあるかもしれませんが、ご覧になる方はご覧になりますし、自分の関心のあるところだけを見ていただいてもいいかなと、どちらかというところ、そういうスタンスの方が強いですが、それがいいか悪いかというところも含めて、ご意見をいただければと思います。

(下手委員) 特に現場の先生方と意見交換をする中では、点数の公表については、すごい抵抗感があるという意見が多かったですね。やはり今の形式で、数値を出さない方がいいかなと思っています。それに、平成26年からですので、そんなに年数が経っていませんので、こういう公表の仕方かどうかというのが、結果としてまだ見えていないのかなという気がします。これはこの方式でいいのかなと思います。

(松浦委員) 保護者の観点からすれば、やはり自分の子どものテストが、どこが間違っ、どこが得手不得手なのかというのが一番で、比較対象ではないと思います。これを活用する側の方は、やはり教育現場の方が活用されるべきなので、そういう意味ではきちんとまとめてあると思いますが、見やすさの部分で言うと、絵的なものがあつた方が見やすいと思います。ただ、今おっしゃったように、少し試行的なこともありますので、もう少しこれでいかれてもいいかなと思います。

(榎野教育長) 今年度で4回目ということになりますので、もう一回ぐらいこれでやって様子を見てという考え方もあるでしょうし、ご指摘がありましたので、学力調査結果の方ではなくて学習状況の方で、項目によってはグラフ化して全国との対比をするようなことも、考える余地は十分にあるかなと思います。学力調査の数字そのものを出すことについては、下手委員さんは数値はない方がいいとおっしゃいましたが、ほかの皆さんはいかがですか。

(松浦委員) 私は、出したからといって保護者がそれを見て得するわけでもないし、あえて公表されなくてもいいと思います。教育委員会が課題をどうするかということが、一番大事だと思います。

(小豆澤委員) 先生方は、あまり公表されたくないという話がありましたが、その理由は何でしょうか。

(榎野教育長) 直接的にはよくわからない部分もありますが、やはり数字が一人歩きするとか、序列化につながるとか、そういう心配の声が多かったような気がします。

(小豆澤委員) 数字を公表すること自体にイエスもノーもありますが、私が先ほどから言っているのはどこかと比較してという見やすさではなくて、この資料自体が読み取りづらいので、グラフなどが使える場所には使われる方が、視覚的効果で情報を認知しやすいということです。

(榎野教育長) その点については、来年度に向けて検討したいと思います。特に学習状況のところは、もう少しシンプルにわかりやすい方が、いいかもしれませんね。水委員さんは、数字に関してはいかがですか。

(水委員) 「本校」というのはいらないかもしれませんが、もしこれを公表するなら、全国、県、出雲市くらいのくくりであっていいのではないかとは思いますが、それはどういう視点で見られるのか、あるいは教員の方の考えを重視していただけたらいいと思います。資料としての興味というか関心はあるのかなと思います。

(安井次長) それは、この後分析をしたものを含めて、今言われたような資料を作って、市教委として別に公表します。これは、一つの学校ごとのペーパーです。

(水委員) そうなんですね。

(榎野教育長) ただ、ここにあるといいですよ。「市はこうです、本校の概要はこうです」と、日本語の表現で。

(水委員) そうですね。

(榎野教育長) 数字そのものの意味というのと、なかなか難しいですし、ここ何年か見えてきていますが、毎年いろいろと状況が変わって、同じ学校でも平均正答率が良かったり悪かったりします。そういう数字を出して意味があるのかということと、もう一つ今年度から、国が小数点第一位を四捨五入してしまって、整数で発表ということになったので、非常にわかりにくくなりました。四捨五入してありますので、極端なことを言うと、0.1点違っても1点の開きが出るということです。そういう数字を捉えてどんな意義

があるのかということもありますし、あまり細かい数字にこだわらずに、しっかりと分析をして、改善策を学校で作って意思統一をする、そしてそれを確実に実践することが一番大事なかなと思っています。今年度のところは、去年と同様の形式で公表するという事で、よろしいでしょうか。

(松浦委員) 時期的には、いつごろになりますか。

(槇野教育長) 10月の末頃です。

(安井次長) 数字自体は今月末に、国が公表します。その後、分析等を行い、10月末ぐらいには、分析後のものをお示ししたいと思っています。

(松浦委員) 10月ですと、3学期に反映したりできますね。

(槇野教育長) 公表はそうですが、実際はもっと早いところで、夏休みにはしっかり分析してもらって、2学期から取り組めることは取り組むということで、どんどん動いていくということです。

(小豆澤委員) 分析結果と課題の欄で、「○」と「●」と記号を変えて書いてありますが、これを結果と課題と対策に分けることはできませんか。この資料は私には読みづらくて、結果と課題が一緒で、なぜか取組だけが別枠に書いてあって、三つに分けた方がもっとわかりやすいと思います。見る人の個人差かもしれませんが、ちょっとわかりにくいです。

(杉谷部長) この表の作り、ということですね。二つに区分けしてあるものを三つにして、記号をなくしたらどうか、ということですね。

(小豆澤委員) しかも「分析結果・課題」と書いてあって、中身は成果と課題です。そういうところが、紛らわしいと思います。

(安井次長) ここは、「成果」の方が適切かもしれません。

(槇野教育長) それから、「分析結果」だけにしてしまうか、のいずれかですね。若干の微修正は行いながら、基本的なベースは前年と同じ方法で行うということで、だいたいご異議は無いようですので、今年度についてはそういうことで、進めさせていただきたいと思います。

4. 議事

(榎野教育長) それでは、議事にはいります。最初に「議第24号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を、教育政策課 渡部課長 に説明をお願いします。

(渡部課長) 資料に基づき説明。

(榎野教育長) 只今の、議第24号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(榎野教育長) 特に質疑等がないようですので、議第24号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(榎野教育長) ご異議ありませんので、議第24号については承認します。

(榎野教育長) 次に、「議第25号 出雲市市立幼稚園における幼稚園運営協議会委員の辞任及び任命について」を、教育政策課 渡部課長 に説明をお願いします。

(渡部課長) 資料に基づき説明。

(榎野教育長) 只今の、議第25号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(榎野教育長) ほかにないようですので、議第25号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(榎野教育長) ご異議ありませんので、議第25号については承認します。

5. 報告

(榎野教育長) それでは報告事項に入ります。報告(1)「平成28年度(2016)教育

委員会の事務の管理執行状況の点検・評価報告書について」を、教育政策課 渡部課長 に説明をお願いします。

(渡部課長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 只今の、報告(1)について、何か質問等はありませんか。

(下手委員) ホームページ上では、この報告書と同じ形式で公表されますか。

(槇野教育長) そうですね。

(渡部課長) ホームページにも、議会報告後に、このまま掲載する予定です。

(下手委員) 前回公表されて、何か評価に対する意見がありましたか。

(渡部課長) 意見も出ております。

(槇野教育長) 小豆澤委員さん、先ほどの学力調査の学校別結果の公表のときの話と同様に、見にくいとか、わかりにくいなどの観点で、いかがでしょうか。

(小豆澤委員) 資料が当日配布で、膨大な量で、何も言いようがないですね。

(槇野教育長) 以前、携わられたこともありますし、いかがですか。

(水委員) 以前は、点数がありましたね。

(松浦委員) やめられたんですね。

(下手委員) 審議会の委員の中に、よくわかるお母さんがいらっしゃって、今の親御さんたちは、こういう紙でお配りしても読まれないので、スマホとかで見られる状態にしてあげる方がいいというようなお話をされて、すごく納得しました。そういう読んでいただけるようなことは、こちら側も少し詳しくならないといけないと思います。

(槇野教育長) この様式で何年かやっていますが、ちょっとわかりにくいということもありますし、行政側の欄の設け方、用語の使い方ということもありますので、もう少しシンプルにして、わかりやすい表現を使った書式に改めていきたいと、個人的には思っています。評価の方法についても、どうしたらいいかということも、もう少し内部検討する必要があると思っています。それから意見の出しっ放しではなく、報告書として意見をまとめたものでこれを作るべきだというご意見もいただいておまして、そういう意見も含めて、先月も申しあげましたが、この点検評価報告書のあり方については、来

年度に向けて検討を行いたいと思っています。その上で、しかるべき時期に、教育委員の皆さんにもご意見を伺って、来年度のやり方、様式等を決めていきたいと思っていますので、またご意見をいただきたいと思ひますし、そのたたき台になるものを作って、お示ししたいと思ひます。この点は、よろしいでしょうか。

(各教育委員) はい。

(槇野教育長) 次に、報告(2)「平成28年度(2016)出雲市学校給食会物資会計決算について」を、学校給食課 金森課長 に説明をお願いします。

(金森課長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 只今の、報告(2)について、何か質問等はありませんか。

(小豆澤委員) これは、食材費ですか。

(槇野教育長) はい。

(小豆澤委員) よく未払いとかいう話も出ている中で、参考までにお伺ひしますが、これは集めて、余らせていいものですか。

(金森課長) 基本的には、その年度で集めた給食費は、余った場合、本来であればその年度で集めた保護者へ返す、あるいは、すべてものに替えて子どもたちに提供して、プラスマイナスゼロにするのが理想です。しかし現実には難しいということで、極力繰越金は出さないように鋭意努力はしておりますが、28年度は特に、熊本地震の影響や北海道の豪雨災害などがあって、野菜で相当影響が出るのではないかとということで、出雲市の学校給食会も大分財布の紐を絞っていました。結局心配したほど被害はなくて、お金が余ってしまったということです。今回780万円あまりの繰越金を出しましたが、できるだけ年度末のところで繰越金が出ないように、それぞれのセンターで管理していきたいと思っています。

(槇野教育長) ほかに何かありますか。

(各教育委員) なし。

6. その他

(槇野教育長) では、「その他」に入ります。教育委員会の後援・共催事業について、教育政策課 渡部課長 に説明をお願いします。

(渡部課長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 只今の報告について、質問等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(槇野教育長) その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

(各教育委員) なし。

7. 次期教育委員会の開催時期

(槇野教育長) 次期教育委員会の日程ですが、9月26日(火)の、午後2時から、市民応接室で開催いたします。それでは、公開の会議はここまでと致します。傍聴の皆様には恐れ入りますが、ご退室頂きますよう、よろしく申し上げます。

(傍聴 退室後)

4. 議事

(槇野教育長) それでは、「議第23号 平成30年度使用 小学校において使用する特別の教科 道徳用教科書の採択結果について」を、教育部 安井次長 に説明願います。

(安井次長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 只今の、議第23号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(槇野教育長) 特に質疑等がないようですので、議第23号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(槇野教育長) ご異議ありませんので、議第23号については承認します。

8. 閉会

(槇野教育長) 以上をもちまして、教育委員会 8 月定例会を閉会します。

(15:13) 定例教育委員会閉会